

函館生涯学習インストラクターの会

情報誌 平成24年度(第2号) 5月31日発行

会長 島貫 徹彦

編集責任者 浜田 愷

☆ネット情報 {報告・情報・連絡}

- ☆5月12日 島貫会長 地域コミュニティー・ムーミン谷で講演
- ☆5月15日 北海道教育庁へ生涯学習振興奨励費補助金を申請 (5.29 内定)
- ☆5月16日 鎌田副会長 函館短期老人大学入学式で基調講演
- ☆5月17日 月例研修会 子供読書応援団【絵本で広がる素敵な世界】岸本和子
- ☆5月23日 放課後子供教室支援活動 南本通り小学校
- ☆6月1日 風間美智子会員、函館市事業仕分け委員選任される
- ☆6月9日 北海道・東北生涯学習インストラクターの会交流研修会、懇親会、浅井、小林、鎌田副会長、武部筆頭幹事出席 (予定)
- ☆6月21日 月例研修会 子供読書応援団 講師風間美智子会員
- ☆6月22日 放課後子ども教室支援活動南本通り小学校
- ☆6月30日 石垣充一会員 移住者交流会にて「キノコ・山菜について」講演予定

☆広場の声【自らの感じ、気づいたこと(随筆・旅行記・文芸)】



最近心に残った言葉2つ～その8

七尾 佳佑会員

2012.5.17.

◎ 2012.5.11.「ラジオ明日へのことば」の中で。

俳人 黒田杏子(昭和13年生)のことば

【人は年を重ねる毎に物の見方が変化すると思う。それと、現物げんぶつあるいは実物じつぶつに、その場所に出向いてじかに接することにより、新たな興味と発見が湧いて来る。】と話していた。

仕事の傍ら、長年俳人として、40代からは「モンペ・スタイル」をトレードマークに全国各地に出向き、作る立場からと選者としての現在の心境を述べたもの。

「モンペ」は、どこでもその場所に座ることができることからの発想と言っていた。

◎ 2012.5.16. 「ラジオ PHP へのことば」の中で。

大田平和総合研究所主宰 大田昌秀（大正 14 年生）のことば

【学ぶ喜びを伝えたい。その中で平和について考えて欲しい。】と話していた。

長年沖縄に住んでいるが、地元のことについて知らない人が居るので、後世に伝えるため、研究所を始めたとのことである。例えば、「あの首里城の地下に「地下壕」があることは殆どの方が知らない。資料で分かっているが、現在埋められているのである・・・。最近外国の人が沖縄について調査したり、発表しているのを見ると、地元沖縄の人はもちろん本土の人（沖縄以外の日本人）にも、沖縄について関心を持ってもらいたいと。」結んでいた。

昨日 5 月 14 日は、沖縄の本土復帰 40 周年記念の日だった。

放課後子供教室日程表

(本通り 3 丁目市立南本通り小学校)

当インストラクターの会の担当日が次のとおり決定しました。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1、平成 24 年 5 月 23 日 (水) | 2、 6 月 22 日 (金) |
| 3、 7 月 18 日 (水) | 4、 9 月 19 日 (水) |
| 5、 11 月 16 日 (金) | 6、 12 月 17 日 (金) |
| 7、平成 25 年 3 月 1 日 (金) | |

*冬休みについては別途検討することになっています。